

支部紹介

第13回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会 報告

第13回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会は平成27年1月24日にアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で開催されました。

今回は13期生が担当幹事で司会進行。幹事によるミニレクチャーは国立障害者リハビリテーションセンター眼科医長の西田朋美先生から「ロービジョン」と諏訪赤十字病院第二泌尿科部長の栗崎功己先生から「頻尿の人がきたら」でした。

特別講演は、ロンドンオリンピックゴールボール金メダリスト浦田理恵選手より「夢への挑戦」と13期の東海大学体育学部競技スポーツ学科宮崎誠司教授(整形外科)より「柔道の外傷・障害と予防」で、ALL JAPANの話を楽しみました。



13期生の白馬伸洋先生(空手部OB)は本年1月から帝京大学溝口病院耳鼻咽喉科主任教授に就任されました。浦田選手の金メダルをかけてもらい、幸せの絶頂でした。今年も楽しく皆が集まり、幸せです。なお、FaceBookに愛媛大学医学部医学科同窓会のグループがありますので、御気軽に御参加下さい。

(文責 幹事長 酒向正春)



第7回愛媛大学医学部同窓会中国支部総会 報告



平成27年5月30日、ホテルグランヴィア岡山で第7回中国支部総会が開催されました。この会は2年に1回、広島、岡山で交互に開催しており今回は岡山での開催でした。参加者は1期生から29期生まで総勢31名。支部代表下原康彰先生(1期生)の挨拶で始まり、愛媛大学医学部分子寄生虫学教授、鳥居本美先生(1期生、岡山県出身)より記念講演を賜りました。

先生が力を注がれているマラリア研究(マラリア原虫の標的細胞侵入機序の解明や伝搬阻止ワクチン候補抗原の検索など)のお話には一同大変興味をそそられていました。また愛媛大学本学、医学部の現状をたくさんの写真で説明していただき、懐かしさと同時に変貌した風景の映像に皆感慨深く見入っていました。その後全員からの近況報告があり、楽しく懇親会が行われました。

翌日、岡山カントリークラブ桃の里コースで親善ゴルフコンペを行いました。参加者6名と少人数でしたが初夏の爽やかな風の中楽しくプレーが行われました。

現在中国5県で400名近い卒業生が活躍しております。私自身お世話になった愛媛県に貢献できていないことを大変申し訳なく思っていますがそれぞれの地域でみんな一生懸命頑張っておりますのでご容赦いただきたいと思います。瀬戸内海を挟んだ対岸の地から愛媛大学医学部の一層のご発展を祈念しております。

1期生はついに還暦を迎えました。これからは次の世代へバトンタッチしていきたいと思っています。次回は2年後(平成29年5月頃)広島で開催いたします。さらに多くの先生方、特に若い先生方の参加をお待ちしております。

(文責 田辺耕三)

支部紹介

第6回愛媛大学医学部同窓会近畿支部総会 報告

第6回近畿支部総会が平成27年6月27日、大阪市のホテル大阪ペイタワーにて開催されました。

近畿支部は平成12年に同窓会最初の支部として発足しましたが紆余曲折あり、その後活動が停滞してしまい平成23年に再開、それからは毎年総会を開催してきております。そのため今年が第6回目というわけです。

今回は91名(前は77名)の参加がありましたが、会場探しに苦勞するほど年々盛会となっております。これもひとえに役員、幹事のみさんの並々ならぬご努力のおかげと感謝しております。

今回、国立病院機構京都医療センター診療部長・泌尿器科科長 奥野 博先生に「熟年男性の健康と性生活」～女性にも聞いてほしい！知ってほしい！～と題した記念講演をしていただきました。先生の多数の臨床経験からのデータも踏まえ、ありがたいご講演を頂きました。会員の中にはもう還暦を過ぎた者も多くいろいろと身につまされるお話でしたが、結論としては家庭、夫婦の円満ということが健康においても一番重要であるというようなことではなかったかと合点のいく内容でした。

総会議事終了後は懇親会に移り、乾杯のあとはそれぞれ懐かしい顔、クラブの先輩後輩、また診療上のいろいろな情報交換など、あちこちに話の輪が広がっていきました。恒例となったグリークラブOBのコーラスも披露されました。

近畿支部は、近畿一円に居住、在職の方で構成されています。毎年多数の卒業生が就職してきていますが、個人情報保護の壁は厚くなかなか実態の把握が難しいところ。今回連絡の無かった方、そして同窓の情報をお持ちの方、また他地域の方でも近畿支部の総会っておもしろそうだとお感じになった方、是非ご連絡ください。お待ちしております。

(文責 1期生 朴 信正 park618424@sunny.ocn.ne.jp)



第12回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会 報告

愛媛大学医学部の同窓生の皆さんお元気ですか。今年も愛媛大学医学部同窓会九州支部会を7月25日博多都ホテルにて行いました。出席者が17人と少人数でしたが、和気藹々とした雰囲気でした。今回は、福岡県8名、大分県4名、長崎県1名、熊本県2名、山口県1名、沖縄県1名の方が出席されました。

学術講演は、長崎大学 多文化社会学部准教授の野上 建紀(のがみ たけのり)先生に『海底に残された歴史の痕跡を探る』というタイトルで講演をしていただきました。九州の有田や波佐見焼から愛媛の砥部焼との関係を海底で発見された小さな破片からたどり着くという内容で、九州と愛媛の歴史的つながりを探ってゆく興味深い講演でした。(彼は小生の従兄弟で海外の発掘調査でなかなか日本にすることが少ない中、講演を引き受けてくれました)

残念ながら恩師の先生が出席されておりませんが、乾杯の後、近況報告も交えながら自己紹介を行い、来年の再会を誓いました。

九州在住で同窓生の方がおられましたら、一人でも多く出席していただけるようご理解ご協力お願いします。毎年7月下旬の土曜日に同窓会を行っております。また、名簿作成も行っておりますのでご協力お願いします。

<事務局> すみい婦人科クリニック 澄井 敬成 (8期生) sumiic@k9.dion.ne.jp
九州支部長 角 典洋 (2期生) sumi-clinic@mx2.tiki.ne.jp

